

---

# 力を背負いし者

草薙 護堂

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

力を背負いし者

### 【NZコード】

N1616Y

### 【作者名】

草薙 護堂

### 【あらすじ】

主人公が突然異界に飛ばされ、がんばって生きていくお話です。処女作なので、駄文や乱文はご勘弁ください。

また、主人公最強ものとなります故、苦手な方は読まれない事をお勧めします。

では、「力を背負う者」をお楽しみください。

ヒローゲ 01 知らぬ間に・・・（前書き）

がんばります。

## HAROKE 01

## 知らぬ間に・・・。

いきなりだが・・・。

「ハドウトシヨーカ？」

はい。

迷子じゃないですよ。

なんてつたって、俺寝てましたから。

布団に入つて意識を手放す直前までは覚えてますから。

はつー？

もしや、これがうわせのトリップとやらりか！？

「こしたつて・・・寝てる間に飛ばさなくとも・・・。」

『ビーム。』

は？

今俺の周りには誰もいないし幻聴だらつか？

『幻聴じゃなによ～。』

「誰だつー？」

某物語の『嘘だつ！』ばかりに力が入ったぜ。

『ん～？君を飛ばした者といつておこりつか？』

「なつー？」

なんで俺やねん。

『なんでって聞かれても・・・。』

答えられないならきかねえよ。

『ども〜〜』

笑うんじやねえよ・・・。

・・・・・

・・・・・

・・・・・

つて心読まれてるうー！

『今更かよ・・・。』

うん。

今気付いた。

『とにかく、君には能力ちからとかあげたから。それでどうにかして。』

使い方くらい教えろや。

『大丈夫。君の脳内に説明書みたいなの植えつけたから。』

なるほどなるほど・・・って、ええつ！？

『じゃあ、そういうことじで・・・。』

ちよつーまつーおまつーーー！

・・・・・。

返事がない・・・・。

なつ！・！・！

ほんとに置き去りかよ・・・・。

現状確認。

自分の肉体へのダメージ・・・なし。

自分の精神へのダメージ・・・測定不能。

場所・・・分からんけど、たぶん森。

「これかいいのよ。・・・。」

「いや・・・。」

何か聞こえたような気がする。

とりあえず人がいるならいいや。

いつてみよ。

## ハピローグ 01 知らぬ間に・・・（後書き）

「」意見、「」感想をお待ちしております。

てか、チートって……

とつあえず声の主はあれだ奴<sup>やつ</sup>。

何故かは知らんが、10kmくらい先まで見える。

あいつの能力とやらだろ<sup>ぢからい</sup>うが……。

周りにいるのは……。

ただの盜賊<sup>カズ</sup>か。

助けなきゃいけないんだろ<sup>うナビ</sup>う……。

近づくのもめんどくさいしなあ……。

説明書を見てみるか。

解説書

能力の使用方法。

イメージせよ。

以上。

こんなもんでも分かるかよつ！？

これはあれか！？

新手の虜めか！？

モード

卷之三

僕の信条は「習って憶れ」だからた

魔法とか使えるのかな?

やってみよ！

訪唱も一応やめてみよ。

風にならぬは風にとまらぬ！

「其は遙より届く星の光。未来永劫費えることのない永久の光源なり。」

いきなり厨一  
—WWW

いけないいけない。

イメージっと。

何か手に漆黒の光？が・・・・。

「其の大きいなる光を我の手にたたえ、敵を殲滅せよ。星天スター・ブレイクの裁き！」

刹那、収束した魔力が発射される。

「何か出たああああああああ！」

その光はまっすぐ進み・・・・。

後ろの山に当たった。

ドゴッ・・・・!-!-!

とんでもない爆風が帰ってきた。

煙が晴れると・・・。

・・・・山がない。

「ははは・・・やつたあ・・・。」

チートだな。

何か盗賊たちが騒いでる。

山が消し飛んだわけだしなwww

それにしてもハントロールしへいな。

某アニメに出てくるやつ作つとくか。

「創造。形状・インテリジョン・デバイス。用途・魔力の管制及び  
使用。」

すると手に『な○は』の『レイジ○グハ○ト』みたいなのが。。。

まあ形は違つが。

でも俺英語の成績悪いからわからな。。。

『始めてまして。マイマスター。』

「日本語おおおおおおおおおおーーーーー。」

マ・ジ・で・かつ?

まあ今はいいや。

とりあえず名前名前・・・。

『私は【ウラノス】。』

ウラノスって・・・。

まあ細かいことは気にしない。

「行くぞウラノス！」

『モード反転。OK, MY MASTER.』

今わ思いつかないから『なの○』の技を借りる！

『Shooting Mode』

「ディバインショーター！」

『Divine Shooter』

「シユートー！」

大量の黒色をした魔力の玉が忘れられていた盜賊（笑）に向けて飛んでいく。

そして、狂いなく着弾し数人を弾き飛ばす。

「なんだ！？」

お～お～。慌ててらあ。

じゃあ行きますか。

「ウラノス。」

『Fighting Forme』

すると背中から魔力と同じ色をした翼が。

そして一気に接近した。

10kmあつた距離がたつた100m程度に。

「何だあいは！？」

「こいつらと話すつもりはないので。

「ウラノス。」

『OK.』

「ディバイン・・・。」

『Divine Buster』

「バスターーー！」

そしてこの一閃により戦闘といつ名の殺戮行為は終わった。そうじ



ただの主人公の人物紹介なのよ（前書き）

忘れてました。

主人公の名前出てませんでしたね。

## ただの主人公の人物紹介なのよ

人物紹介です。

まだ主人公だけですが、随時追加していきたいと思います。

神楽坂 春尋  
かぐらさか はるひろ

この物語の主人公。

なぜか睡眠中に異世界に飛ばされる。

飛ばされた目的は全く持つて不明。

純潔の日本人だが、瞳の色はほぼ金色。

髪の色は日本人らしく黒色。

典型的なアスリート体系だが、スポーツは体育以外でしたことがない。

十人中十人が振り返るルックスでファンクラブも存在したほど。女子からの人気は高いが、本人が驚くほど鈍感なため周りの人間は困っている。

性格：相手によるが基本的にはN  
ノーマル

職業：高校一年生

冒險者

能力：なんでもありのチート

武装：今はウラノスというインテリジェントデバイス。



ただの主人公の人物紹介なのよ（後書き）

どうでしょ？

まあ隨時追加します。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1616y/>

---

力を背負いし者

2011年11月20日02時09分発行